

模擬授業ラインナップ!

食と**農**と**地域づくり**

農学部的一端をご紹介します!

「**農場の動物**たちの病気はどうやって予防されているか」

上塚 浩司 (食生命科学科)

- 10:00 ~ 10:30
- 11:30 ~ 12:00

農場で飼育されている動物は、家畜と呼ばれます。家畜は肉やミルクなどの畜産物を生産します。畜産物は人が美味しく頂くものなので、安全な畜産物を生産しなければなりません。そのためには農場で家畜が健康に発育することが必要です。それでは、どのように家畜の病気が予防されているのか？ これを模擬授業で解説します。

(講義棟 / 203講義室)

「微生物をつかって**CO2**からプラスチックをつくる」

長南 茂 (食生命科学科)

- 10:45 ~ 11:15
- 13:30 ~ 14:00

CO₂固定に優れた「水素細菌」を使って、カーボンニュートラル社会を実現する研究を進めています。水素細菌は、水素を酸化して得られたエネルギーをつかってCO₂から有用物質をつくりだすことができます。本講義では、水素細菌を利用してCO₂を含む混合気体から生分解性プラスチックをつくる取り組みを紹介します。

(講義棟 / 203講義室)

模擬授業ラインナップ!

食と農と地域づくり

農学部的一端をご紹介します!

「活躍する遺伝子たち—農業生産に革新をもたらした遺伝子について—」

久保山 勉

(地域総合農学科・応用植物科学コース)

- 10:00 ~ 10:30
- 11:30 ~ 12:00

作物生産を向上させるために様々な遺伝子が利用されています。この模擬授業では収量の増加に役立つ遺伝子、北海道の米品質を高める遺伝子、稲作の北上に貢献した遺伝子を紹介します。また、熱帯原産のサツマイモは本州で咲かないのにアサガオは咲く理由についても遺伝的な考察を加えます。

(講義棟／204講義室)

「農耕地からの温室効果ガスを考える」

林 暁嵐

(地域総合農学科・地域共生コース)

- 10:45 ~ 11:15
- 13:30 ~ 14:00

皆さんは小さい頃に泥遊びをしたことがありますか？実は、その中に持続的可能な農業のキーが隠されています。農耕地は主要な温室効果ガスである亜酸化窒素(N_2O)の最大の人為的排出源であり、その排出量の削減が重要な課題となっています。本授業では、農耕地の管理体系が N_2O の排出量に与える影響について紹介します。

(講義棟／204講義室)